

第2号様式

会 議 議 事 録

1 会議名	第7回長岡市入札・契約制度に関する検討委員会
2 開催日時	令和元年7月4日（木曜日） 午前10時00分から午前11時15分まで
3 開催場所	アオーレ長岡 東棟4階 大会議室
4 出席者名	(委員) 沢田委員長 鯉江委員 櫻井委員 中村委員 並木委員 (事務局) 大滝コンプライアンス推進監、佐藤入札・契約制度 改革担当部長、小嶋財務部長、近藤総務部長ほか関 係職員
5 欠席者名	なし
6 議題	1 開会 2 討議 3 閉会
7 会議資料	別添のとおり
8 議事概要	別添のとおり

第7回長岡市入札・契約制度に関する検討委員会 議事概要

- ・冒頭、委員長より、6月17日に市長へ「提言（中間報告）」を手渡したことについて、委員への報告があった。
- ・その後、事業者アンケートの集計結果の確認と、継続して検討する4項目のうち「総合評価方式（試行）（多様な入札制度の導入）」に係る討議を行った。
- ・事業者アンケートについては、最終の集計結果のほか、各事業者の意見等のすべてを市に伝え、今後の制度設計の参考にしようという意見で一致した。
- ・「総合評価方式（試行）」について、委員から市に対し、（資料「別紙1-1①」の内容から）技術評価点は差がつかない傾向にあるのかという質問があり、市側からは、「配点などは外部アドバイザーの意見を踏まえて設定しているものの、差がつきにくく、過去の実績の有無により決定される項目も多いため、新たな観点から評価項目を追加することなどを検討している」という回答があった。
- ・また、簡易（提案）型の件数が少ない理由に関する質問について、市側からは、「本市においては、事業者からの提案で工事内容に大きな差がつくような発注規模の大きい工事件数が少ないこと、同方式は手続きから着工まで長期間を要するが、降雪という地域特性も踏まえると、それだけの期間を確保できる工事件数が現状においては年に1～2件程度であること」という回答があった。
- ・対象工事（金額）の実態に関する質問について、市側からは、「市の内規は3千万円以上と定めているが、実際、同手法による実施が適当と思われる工事（評価の際に差が見て取れる規模の工事）は億円単位の工事が多い」という回答があった。
- ・総合評価方式に係るまとめとして、今後も同方式の実施が適当な工事があった場合には、可能な限り積極的に実施すべきであるという意見で一致した。
- ・最後に、次回以降の日程調整が行われ、第8回は7月26日（金曜日）の午前10時から、第9回は8月9日（金曜日）の午後3時から実施するというように決定した。